日本的民间传说～很久很久以前～

ー 戴斗笠的地藏菩萨 ー

很久很久以前，在一个积雪很深的村子里住着一位老爷爷和一位老奶奶。虽然他们心地善良，但非常贫穷，马上就要过年了却连买年糕的钱都没有。于是二人用稻草编了斗笠，老爷爷拿着斗笠到街上去卖，但一个都没有卖出去。没办法，老爷爷只好背着没有卖出去的斗笠回家了。回家的途中下起了雪，周围一下子就变成了雪白的一片，于是老爷爷便加紧往回赶。

来到村子的入口，那里站着 6 个地藏菩萨（菩萨的石像）。地藏菩萨的头上积满了厚厚的雪。老爷爷觉得很可怜就动手将地藏菩萨头上的积雪挥去，但马上雪又开始覆盖了他们的头。于是老爷爷将卖剩下的斗笠戴在地藏菩萨头上。往 6 尊地藏菩萨头上一顶一顶带上去后，斗笠只有 5 顶，少了一顶。老爷爷就将自己戴着的头巾解下给最后一个地藏菩萨戴上，自己什么都没戴冒着大雪回家了。

终于回到了家，老奶奶看到被雪淋得湿透的老爷爷十分吃惊，但老爷爷说了自己将剩下的斗笠和自己的头巾给地藏菩萨戴上的事后，老奶奶笑着说：“这是好事啊。不能买年糕也没关系。”

当天晚上，老爷爷和老奶奶睡觉时，外面传来“咚、咚”重物被放下的声音。老爷爷和老奶奶听到声音睁开眼睛，“发生什么事了？”战战兢兢地打开门一看，门口放着大大的年糕和许多大米、蔬菜、鱼等吃的。“实在太感谢了。这样就可以过个好年了。但这究竟是谁放的呢？”老爷爷和老奶奶感到非常不可思议看了看周围，看到了地藏菩萨并排离去的身影。地藏菩萨的头上都戴着斗笠，而最后一个地藏菩萨的头上戴着头巾。

日本の昔話（にほんのむかしばなし）～むかし、むかし～

― 笠地蔵（かさじぞう） ―

昔々（むかしむかし）、雪深（ゆきぶか）い村（むら）にお爺（じい）さんとお婆（ばあ）さんが住（す）んでいました。心（こころ）の優（やさ）しいお爺（じい）さんとお婆（ばあ）さんでしたが、とても貧（まず）しく、もうすぐお正月（しょうがつ）だというのにお餅（もち）を買（か）うお金（かね）もありませんでした。そこで2人（ふたり）はわらで笠（かさ）を編（あ）み、お爺（じい）さんはその笠（かさ）を町（まち）へ売（う）りに出（で）掛（か）けましたが、全然（ぜんぜん）売（う）れませんでした。しかたなく、お爺（じい）さんは売（う）れ残（のこ）った笠（かさ）を持（も）って家（いえ）に帰（かえ）ることにしました。すると、帰（かえ）る途中（とちゅう）に雪（ゆき）が降（ふ）ってきて、あっという間（ま）に辺（あた）りが真（ま）っ白（しろ）になるほどでしたので、お爺（じい）さんは帰（かえ）り道（みち）を急（いそ）ぎました。

村（むら）の入（い）り口（ぐち）まで来（き）ました。そこには6体（たい）のお地蔵様（じぞうさま）（菩薩（ぼさつ）の像（ぞう））が立（た）っています。お地蔵様（じぞうさま）の頭（あたま）にも雪（ゆき）が降（ふ）り積（つ）もっていました。気（き）の毒（どく）に思（おも）ったお爺（じい）さんはお地蔵様（じぞうさま）の頭（あたま）の雪（ゆき）を手（て）で払（はら）い除（の）けましたが、またすぐに積（つ）もり始（はじ）めます。そこでお爺（じい）さんは売残（うれのこ）りの笠（かさ）をお地蔵様（じぞうさま）に被（かぶ）せてあげることにしました。6体（たい）のお地蔵様（じぞうさま）の頭（あたま）に1つ1つ被（かぶ）せていると、笠（かさ）は5つしかなく、後（あと）1つ足（た）りません。お爺（じい）さんは自分（じぶん）が被（かぶ）っていた手拭（てぬぐ）いを最後（さいご）のお地蔵様（じぞうさま）に被（かぶ）せ、自分（じぶん）は雪（ゆき）の中（なか）を何（なに）も被（かぶ）らずに帰（かえ）っていきました。

やっと家（いえ）に着（つ）きました。お婆（ばあ）さんは、お爺（じい）さんが雪（ゆき）にひどく濡（ぬ）れて帰（かえ）ってきたので驚（おどろ）きましたが、お爺（じい）さんが売（う）れ残（のこ）った笠（かさ）と自分（じぶん）の手拭（てぬぐ）いをお地蔵様（じぞうさま）に被（かぶ）せてきた話（はなし）をしたところ「それは良（よ）いことをしました。餅（もち）が買（か）えなくても何（なに）も困（こま）りませんよ」と笑顔（えがお）で言（い）いました。

その晩（ばん）、お爺（じい）さんとお婆（ばあ）さんが眠（ねむ）っていると、家（いえ）の外（そと）から「どすん、どすん」と何（なに）か重（おも）い物（もの）が置（お）かれる音（おと）がします。お爺（じい）さんとお婆（ばあ）さんはその音（おと）に目（め）を覚（さ）まし「なんだろう」と恐（おそ）る恐（おそ）る家（いえ）の扉（とびら）を開（あ）けてみると、そこには大（おお）きなお餅（もち）、米（こめ）、野菜（やさい）、魚（さかな）などがたくさん置（お）かれていました。「なんとありがたい。これで良（よ）いお正月（しょうがつ）が迎（むか）えられる。だが一体誰（いったいだれ）がこれを置（お）いたのだろう」お爺（じい）さんとお婆（ばあ）さんが不思議（ふしぎ）に思（おも）って辺（あた）りを見（み）ると、お地蔵様（じぞうさま）が並（なら）んで去（さ）っていく姿（すがた）が見（み）えました。お地蔵様（じぞうさま）は皆笠（みなかさ）を被（かぶ）った姿（すがた）でしたが、最後（さいご）の1体（たい）は手拭（てぬぐ）いを被（かぶ）っていましたとさ。

〈日本語できるかなの答え〉

①ぞうきん②そうじき③マスク④ゴミ